

10:30～10:40	開会ご挨拶 吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
10:40～11:25	 <p>CSA本部講演 Jim Reavis CEO, Cloud Security Alliance Resilient Cloud Computing and Sustainable Development Goals In this presentation, Cloud Security Alliance CEO Jim Reavis discusses the future of cloud computing and key related technology trends from a perspective of sustainable development. Can cloud be an enabler for SDG? What changes in business, technology and policy will be required to make this a reality?</p>
11:25～11:55	 <p>招待講演1 金田 圭史 デジタル庁 戦略・組織グループ セキュリティ危機管理 セキュリティスペシャリスト 「デジタル庁としてのサイバーセキュリティの取り組み状況」 2021年12月24日に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定されました。この計画は、目指すべきデジタル社会の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記されております。今回の講演では、重点計画の内容に触れながら、デジタル庁のサイバーセキュリティの取り組みについて、ご説明させていただきます。</p>
11:55～13:00	お昼休み
13:00～13:40	 <p>基調講演 江崎 浩 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 「カーボンニュートラルに向けたデジタルインフラ整備 Green(Energy) x Digital(Internet/DC)」 社会産業システムのデジタル化とオンライン化は、Society5.0実現に向けた前提条件であり、コロナ禍は、さらに、SDGsの実現に向けたカーボンニュートラルの実現を人類の必須条件とした。DXとCNの実現を単一組織として実現するだけでは不可能であり、サプライチェーンでのシステムの設計・実装・運用が必須となる。</p>
13:40～14:00	 <p>協賛講演1 高岡 隆佳 ゼットスケラー株式会社 エバンジェリスト&アーキテクト 「グローバルクラウドセキュリティ企業としてのESGへの取り組み」 多くのHWを必要とするITインフラからパフォーマンス、スケーラビリティに優れたクラウドアーキテクチャへの変革が進んでいます。DXの実現、UXの向上、ITコスト削減とエネルギー環境に配慮したゼットスケラーの取組みを紹介します。</p>
14:00～14:30	 <p>招待講演2 吉田 朗 アマゾンウェブ サービス ジャパン合同会社 公共政策部マネージャー 「クラウドによる脱炭素社会の実現」 クラウドへの移行による環境面での利点については、これまで大きな注目を集めていないのが現状です。AWSの委託により451 Researchが行った調査によると、日本の平均的な企業・公共機関では、クラウドへの移行により約77% エネルギー消費量を削減することができます。このセッションでは、クラウドの環境面での価値についてお話ししたいと思います。</p>
14:30～14:50	休憩
14:50～15:20	 <p>招待講演3 筧 夏穂 株式会社WellGo 営業戦略部 サステナブル推進担当 「SDGsx健康 WellGoが考える“ウェルビーイング経営”とは？」 「地球上の誰一人として取り残さない」経営には、社会課題の解決と経済価値を両立しつつ、企業の社会的存在価値を創造し、ステークホルダーと協創する取組みが不可欠です。お客様、従業員、協力会社、投資家、地域社会そして次世代の若者たち。企業と関わるあらゆる人々と共に地球を生きるウェルビーイング経営の実際を、大手企業の事例でご紹介します。</p>
15:20～15:40	 <p>主催者講演 諸角昌宏 一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス 理事 「クラウド利用者の説明責任とプロバイダの透明性～CSAが提供するCCM/CAIQ等の有効活用～」 クラウドセキュリティの責任共有モデルにおいては、クラウド利用者がクラウドサービスのセキュリティを評価し、それを自身のセキュリティ管理に取り込んでいくことが重要です。利用者は、プロバイダからの情報や提供される機能に基づいて、セキュリティ要件を満たしているかどうかを判断する必要があります。これを行うにあたっては、セキュリティ質問表の作成、ベンダー評価の実施などが避けられませんが、非常に多くの貴重なリソースと時間を消費します。CSAが提供するCCM/CAIQおよびSTAR認証では、クラウド利用者とプロバイダが共通の言葉で話すことができるようになり、効率的にクラウドサービスの評価を行うことができます。本講演では、これらのツールの利用方法を説明するとともに、セキュリティの観点でのクラウドの有効性について説明します。</p>
15:40～16:10	 <p>招待講演4 坂田恒昭 バイオコミュニティ関西 副委員長兼統括コーディネーター 近畿バイオインダストリー振興会議 副理事長 大阪大学共創機構 特任教授 「バイオコミュニティ関西(BiocK) ～「つなぐ」「つなげる」「つながる」・集積から連携へ～」 バイオ戦略2020が内閣府により策定され、その中心としてグローバルバイオコミュニティの形成が謳われている。関西圏においてもオープンイノベーション促進のためのネットワーク組織であるバイオコミュニティ関西(BiocK)が2021年7月に設立された。BiocKではその実現・実行のための分科会を立ち上げている。本講演ではデジタルヘルス関係の分科会を中心に、BiocKの現在の取り組みを紹介する。</p>
16:10～16:50	 <p>招待講演5 戸倉 彩 日本アイ・ピー・エム株式会社テクノロジー事業本部カスタマーサクセス部長 「自然・社会環境の維持・発展の貢献に役立つ最新クラウド技術動向」 SDGsの17のゴールは社会的ニーズや企業活動とも密接に関わっており、専門的な知識と中長期的な施策実施が必要とされています。今回は、目標の中から5つを選び、事例やデモを交えながら解決課題や持続可能な社会づくりに貢献できる旬な技術分野について解説いたします。 5 ジェンダー平等を実現しよう 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を</p>
16:50～17:00	閉会挨拶 寺尾敏康 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事 企画会議議長 事務局次長